

青少年体験・チャレンジ活動

【事業一覧】

No	1	中央公民館	事業名	青少年体験・チャレンジ活動		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	少年教室	講義・実習	7月28日(月)	アトリエめいじゅ (※)	実10490224 報10577873	
2	少年教室	講義・実習	11月25日(火)	こども能楽教室	実10584803 報10684977	
3	少年教室	講義・実習	12月26日(金)	中公書初め塾	実10613813 報10668181	
4	少年教室	講義・実習	9月21日(日)	共愛学園前橋国際大学短期大学部との連携事業 「赤ちゃん人形で保育者体験」	実10544506 報10624425	
5	少年教室	講義・実習	11月29日(土)	共愛学園前橋国際大学短期大学部との連携事業2 「親子で楽しめる数や図形の世界」	実10607079 報10729375	
6	少年教室	講義・実習	3月 1日(日)	共愛学園前橋国際大学短期大学部との連携事業4 「親子ミニチュアパンの雑貨づくり」	実10701046 報10758171	

【事業の概要】

No	1	中央公民館			経費	¥6,000		
事業名	青少年体験・チャレンジ活動				講座区分	少年教室		
講座名	アトリエめいじゅ							
ねらい	① 明寿大学の学習方針の一つ、地域社会での役割の自覚、学習成果の地域還元を目的とし、夏休み中の小学生向けの講座を開催することで、子どもの頃から親しめる公民館づくりを推進するとともに、高齢者と児童による世代間交流ができる機会を提供し、地域のコミュニケーションの醸成を図る							
対象	☐ 乳幼児	☒ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☒ HP	☒ チラシ	☒ その他（すぐる配信）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	7月28日(月)		参加児童が各々のテーマを持ち寄り、自由に絵を描く。時間中は明寿大学の学生が児童を見守り、絵画クラブで学んだ知識や経験を活かしサポートする。			6,000円	—	
	10:00	14:00				疋田 由利子		
	40	32						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	夏休みの宿題を終わらせる講座を選定、世代間交流
地域のニーズにこたえているか	○	夏休みの宿題を終わらせる講座の希望が多かった
企画・事前準備は十分であったか	◎	先輩職員の補助も受けながら円滑に進めることができた
学習者の満足度はどうであったか	○	アンケートでは満足の声が多かった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	◎	明寿大学生がクラブ活動で得た知識の還元・波及
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	すぐる配信も行ったことで定員を大幅に超える応募があった

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

45

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	参加した児童、明寿生ともに満足度の高い講座となったと思う。児童からは「アドバイスをもらったら上手に書けた」という声が多く寄せられ、明寿生からは「子供の視点による構図、色使いなど参考になった」という意見もあり、双方にとって学びのある時間となった。地域における世代間交流を図る良い機会でもあるため、今後も継続して交流できる場を増やしたい。	
改善点	・早く終わってしまった児童への対応 ・熱中症の観点と時間の確保から、開始時間の変更 ・定員40名のところ100名を超える応募があったため、2日間に分けての開催を検討	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	毎年人気の講座であるため、継続して開催していきたい。また、世代間交流を図ることで地域の交流の幅を広げること、小さい頃から親しみやすい公民館づくりの一貫でもあるため、今後も継続していきたい。	

留意事項その他	
---------	--



講座の様子



講座の様子

様式 1

【事業一覧】

No	2	上川淵公民館	事業名	青少年体験・チャレンジ活動		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	少年教室	実習	4月12日(土)	明桜中学校吹奏楽部スプリングコンサート	実10429529 報10488146	
2	少年教室	講義・実習	7月30日(水) ～ 8月9日(土)	未来をつくる夏のキッズチャレンジ (※)	実10488700 報10590845	
3	少年教室	実習	7月23日(水) ～ 8月29日(金)	公民館学習室	実10492423 報10615526	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	2	上川淵公民館			経費	¥12,000		
事業名	青少年体験・チャレンジ活動				講座区分	少年教室		
講座名	未来をつくる夏のキッズチャレンジ							
ねらい	① 「体験・チャレンジ活動」の場を提供し、次代の新たな担い手となるこどもたちの好奇心や生きる力を養う ② 心身ともに健やかに育つために学習する場を提供する ③ 地域を知り様々な立場の人と交流することで、郷土愛を育むための活動とする							
対象	☐ 乳幼児	☒ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☒ HP	☒ チラシ	☐ その他（ ）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	7月30日（水）		「こども樹木博士になろう！」 公民館の庭木を観察して特徴を学び“こども樹木博士”に取得に向け学ぶ。			6,000円	—	
	9:00	11:00				エコ食楽部		
	10	9						
2	8月2日（土）		「みんなのまち！前橋をもっと知ろう」 アニメで話題の観光スポットやお祭りなどを学び、郷土愛を育む。			—	—	
	10:00	11:30				観光政策課職員		
	10	5						
3	8月3日（日）		「お話ワンダーランド☆絵本の世界に飛び込もう」 読み手を地域から募集し、読み聞かせを行い世代間交流を図る。			—	—	
	10:00	11:30				地域住民（小学生含む）		
	20	24						
4	8月9日（土）		「音の魔法♪チェロと遊ぶ夏時間」 チェロの歴史や音楽を知り、セッション体験を通して協調性を学ぶ。			6,000円	—	
	10:00	12:00				チェリスト 石原 まり		
	10	9						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	環境問題への理解促進や郷土愛醸成に寄与することができた
地域のニーズにこたえているか	◎	異なる分野の講座を組み合わせ、参加者の希望に応じた選択肢を確保することができた
企画・事前準備は十分であったか	◎	講師や協力者との打ち合わせを密に行い、トラブルなく実施することができた
学習者の満足度はどうであったか	○	概ね満足いただくことができたと考える
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	◎	読み手を募集したが、地域の中で活動を希望している方を掘り起こすことができた
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	HP やすぐるを活用して周知活動を行ったが、定員にならない講座が多かった

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 47

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	自然観察・地域観光・読み聞かせ・音楽体験という多彩な内容を通じて、子どもたちが地域への関心を深め、感性や探求心を育む機会となった。また、地域の人材や環境を活かした学びが充実し、公民館ならではの温かい交流と体験が生まれた。音楽体験では、演奏の補助として中学生がボランティアで参加してくれたが、地域と学校連携にも寄与することができたと考える。	
改善点	多様な体験を通じて、地域への関心や探求心を深める機会となった一方で、講座間のつながりや成果の見える化、参加者交流の工夫が今後の改善点として挙げられる。継続的な学びにつながる動線づくりも含め次年度に向け改善していきたい。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	自然・地域・文化・音楽といった多様な体験を通じて、子どもたちが地域への関心や探求心を育む貴重な機会となっている。また、地域人材の活用や世代間交流など、公民館ならではの学びとつながりが生まれており、地域コミュニティの活性化にも寄与している。こうした効果は単年度で完成するものではなく、継続的な取り組みによってより深まり、子どもたちの成長と地域の教育力向上につながるため、事業の継続が必要である。	

留意事項等	
-------	--

	
公民館敷地内の樹木について学ぶ	音楽体験で学んだ成果の発表

【事業一覧】

No	3	下川淵公民館	事業名	青少年体験・チャレンジ活動		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	少年教室	実習	7月28日(月) 7月29日(火)	下川淵こども体験教室(夏) (※) こども絵画教室	実10535779 報10569722	
2	少年教室	実習	7月24日(木) 8月 7日(木) 8月28日(木)	下川淵こども体験教室(夏) (※) こども陶芸教室	実10535779 報10569722	
3	少年教室	実習	8月 5日(火)	下川淵こども体験教室(夏) (※) こども薬剤師体験	実10535779 報10569722	
4	少年教室	実習	12月21日(日)	下川淵公民館クリスマスコンサート	実10618384 報10618388	
5	育成・インリー ダー研修	講義・ 実習	6月14日(土)	下川淵地区子ども会インリーダー講習会	実10489107 報10558669	

【事業の概要】

No	3	下川淵公民館			経費	¥54,000		
事業名	青少年体験・チャレンジ活動				講座区分	少年教室		
講座名	下川淵こども体験教室（夏）							
ねらい	① 昨今減少傾向にある「体験・チャレンジ活動」の場を提供し、次代の新たな担い手となるこどもたちの好奇心や生きる力を養うこと ② 地域の人材を活用し、知識の地域還元を図ること ③ こどもたちが学校とは異なる集団学習において、集中して学習する機会とし、自ら学ぶ姿勢を身につけること							
対象	☐ 乳幼児	☒ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☐ 館報	☐ H P	☐ チラシ	☐ その他（ ）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	7月28日(月)		こども絵画教室			18,000円	—	
	7月29日(火)					岡本 美由貴		
	9:00	12:00						
2	20	17	こども陶芸教室			21,000円	300円	
	7月24日(木)					下川淵陶芸クラブ		
	8月 7日(木)							
3	8月28日(木)		こども薬剤師体験			15,000円	—	
	10:00	11:30				日本調剤前橋日赤前薬局		
	15	14						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	日頃体験できないこと及び夏休みの宿題ができるものを選定した
地域のニーズにこたえているか	◎	当日のキャンセルはあったが、どの講座もすぐに定員が埋まった
企画・事前準備は十分であったか	○	講師と十分に打ち合わせをして当日に臨んだため、円滑に進めることができた
学習者の満足度はどうであったか	○	アンケート結果では、全員が「よかった、とてもよかった」を選択した
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	職業選択の意識付けや将来の地域活動につながる下地作りとなった
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	“すぐーる”を活用して応募してもらった。保護者の世代は違和感なく受け入れている

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

43

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	講座の内容については概ね参加者に満足してもらえたと思う。講師を務めてくれている地域の方や薬剤師の方もやりがいを感じて取り組んでくれている。参加者である小学生にこうした方々の活動について知ってもらうことにより、将来地域を支えて人材に育ってくれると良いと思う。	
改善点	今回は、参加について先着順としたが、公平性を保つため抽選についても検討したい。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	人気の高い講座であるため、継続したい。更に良いものになるよう、回数や内容については検討していきたい。	

留意事項等	
-------	--



こども薬剤師体験



こども陶芸教室

様式 1

【事業一覧】

No	4	芳賀公民館	事業名	青少年体験・チャレンジ活動		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	少年教室	実習	6月21日(土)	「親子で新じゃが掘り体験」 (赤城山ろく里山学校) (※)	実10470961 報10549438	
2	少年教室	実習	7月29日(火)	「夏休みチャレンジ教室」 木工教室	実10534136 報10589603	
3	少年教室	実習	7月30日(水) 8月 6日(水)	「夏休みチャレンジ教室」 絵画教室	実10534136 報10589603	
4	少年教室	講義・ 実習	8月 7日(木)	「夏休みチャレンジ教室」 水辺安全教室	実10534136 報10589603	
5	少年教室	実習	12月26日(金)	「冬休みチャレンジ教室」 書初め教室	実10667157 報10692220	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	4	芳賀公民館			経費	2,870円		
事業名	青少年体験・チャレンジ活動				講座区分	少年教室		
講座名	「親子で新じゃが掘り体験」 （赤城山ろく里山学校）							
ねらい	① 家庭ではなかなかできない屋外での収穫体験を通し、地域に親しみを持ち自然に感謝する心を養う ② 共通の体験を通じて、親子の交流やこどもたちの新たな仲間づくりの場を作る ③ 自ら収穫したじゃがいもを自ら調理することで、健全な食生活を行う能力を身につける							
対象	☐ 乳幼児	☒ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☒ HP	☒ チラシ	☒ その他 （すぐーる、給食だより）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	6月21日（土）		じゃがいも掘り体験 ・じゃがいも（男爵、キタアカリ）の特色や調理方法について学ぶ ・じゃがいもの収穫体験 ・じゃがいも料理レシピを配付し、収穫したじゃがいもを調理してもらう			—	1人200円	
	9:00	10:00						
	30組	29組						
						産直「味菜」 店長 吉澤 春康		

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	家庭ではなかなかできない屋外での収穫体験を提供できた
地域のニーズにこたえているか	◎	参加者に地域の農や食への愛着や理解を深めることができた
企画・事前準備は十分であったか	○	講師と事前に打合せを実施し、事業の趣旨を共有することができた
学習者の満足度はどうであったか	◎	収穫体験の様子やアンケート結果から、こどもたちの満足度が高いことが推測される
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	「じゃがいも料理レシピ」を参加者へ配付し食育推進を図ることができた
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	館報・HP・チラシ・すぐる・給食だよりを活用し、様々な方法で周知できた

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 43

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	・新型コロナウイルス感染予防対策として導入していた2部制を廃止し、収穫体験の時間を多く確保できるようタイムスケジュールを変更した。 ・熱中症対策として、昨年度同様開始時間を午前9時とし、参加者への熱中症予防チラシの配付、開会時での熱中症の注意喚起、日よけ用のテントの設置をして実施した。 ・今年はじゃがいもの成長がとても良く、掘り出してみると大きな実がゴロゴロでてきて豊作だったため、参加者はとても喜んでいました。 ・収穫したじゃがいもを家庭に持ち帰って、親子で調理していただくように「じゃがいも料理レシピ」（芳賀地区食生活改善推進員のおすすめ）を参加者へ配付し食育推進を図った。	
改善点	・熱中症対策の拡充（開始時間の評価及び検討、熱中症警戒アラート発生時の対応等） ・食育推進の拡充（レシピを配付するだけでなく、食生活改善推進員会等の地域の団体の協力を得ながら実施する料理教室の開催等の検討）	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	申込開始から1日で募集定員に達するほど、興味や関心度が高い事業であることやアンケート結果から非常に満足度が高い事業であることが推測され、事業の規模の拡充を図っていききたいところではあるが、種芋の植え付けから収穫までの生育管理をしてくださる「農事組合法人味菜」のご厚意により実現する事業であるため、来年度以降も継続して実施できるよう協力関係を築いていきたい。	

その留意事項等	・収穫体験の前に、講師から作付けしてある2種類のじゃがいも（男爵、キタアカリ）についての特色や調理方法を説明。また、日が当たって緑色になっている物は、有害であるため持ち帰らないようにするよう注意喚起。 ・赤城山ろく里山学校の事業として実施。
---------	---

	
じゃがいも掘り体験の様子①	じゃがいも掘り体験の様子②

様式 1

【事業一覧】

No	5	桂萱公民館	事業名	青少年体験・チャレンジ活動		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	少年教室	講義・実習	7月25日(金) ～ 8月30日(土)	桂萱サマーチャレンジスクール (※)	実10532433 報10622174	
2	育成・インリー ダー研修	講義・実習	7月 6日(日)	インリーダー・育成指導者講習会	実10509785 報10558335	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	5	桂萱公民館			経費	¥83,600		
事業名	青少年体験・チャレンジ活動				講座区分	少年教室		
講座名	桂萱サマーチャレンジスクール							
ねらい	① 夏休みの間に、子ども達が様々な体験を通して、主体的に学ぶ機会とする ② 共同で学習や作業することで社会性を身につける ③ 学校や学年を超えた交流や仲間づくりを図る ④ 講師に自主学習グループの会員等を活用し、子ども達と地域の大人たちとの交流を図る							
対象	☐ 乳幼児	☒ 小学生	☒ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☒ H P	☒ チラシ	☐ その他 ()				
回	月 日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	7月25日(金)		「七宝焼に挑戦！」 七宝焼きでキーホルダーを作ることにより、伝統工芸を体験する。			10,000円	700円	
	10:00	12:00				桂萱学習グループ 「桂萱七宝クラブ」		
	20	22						
2	7月28日(月) 7月29日(火)		「夏の絵画教室」 ポイントを学びながら、水彩画やポスターを描き、色を塗って仕上げる。①1日目(7/22)下絵 ②2日目(7/23)色塗り			9,600円	—	
	9:30	11:30				桂萱学習グループ 「桂の会」		
	40	①39②36						
3	7月28日(月)		「心の教室」 悩みを相談できること知り、自殺防止につなげる。			—	—	
	13:30	14:00				前橋市保健所 保健予防課 保健師		
	30	19						

4	7月28日(月)		「SDGsサイエンス」 牛乳を使ってプラスチックを作り、海洋プラスチックごみや環境問題について学習。	12,000円	400円
	14:10	16:10		NPO教育支援協会北関東 スタッフ2名	
	30	16			
5	7月29日(火)		「はじめてのプログラミング」 学校配付のタブレットを使って、「スクラッチ」(アプリ)で作品を作成しながらプログラミングについて学ぶ。	12,000円	300円
	13:30	15:30		NPO教育支援協会北関東 スタッフ2名	
	30	30			
6	7月30日(水)		「陶芸に挑戦！」(午前の部) 粘土をこねて、お皿やカップ等の器作りを体験する。	10,000円	700円
	10:00	11:30		桂萱学習グループ 「楽陶クラブ」	
	20	19			
7	7月30日(水)		「陶芸に挑戦！」(午後の部) 粘土をこねて、お皿やカップ等の器作りを体験する。	10,000円	700円
	13:00	14:30		桂萱学習グループ 「楽陶クラブ」	
	20	17			
8	7月31日(木)		「夏の書道教室」 「とめ」「はね」「はらい」を中心に書道の基本を学び、自らが書きたい文字を書きながら実践して学習を深める。	10,000円	—
	14:00	15:30		桂萱学習グループ 「桂書道クラブ」	
	40	37			
9	8月8日(金)		「わくわくクッキング」 朝食の作り方を学び、夏休み(長期休暇)の食事作りに活かす。	10,000円	500円
	10:00	11:30		桂萱地区 食生活改善推進委員会	
	24	30			
10	7月26日(土) 8月2日(土) 8月9日(土) 8月23日(土) 8月30日(土)		「囲碁将棋教室」 囲碁や将棋の仕組みを学び、実際に対戦しながら学びを深める。	—	—
	9:00	11:30		桂萱学習グループ 「桂萱囲碁将棋クラブ」	
	なし	延べ73			

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	子どもへの対応が注目される「科学」「食育」「メンタルのケア」を取り入れている
地域のニーズにこたえているか	○	受講要望に応じて夏休み期間中に講座を開催、講師に地域人材を活用
企画・事前準備は十分であったか	○	初めての分野も事前に開催準備対応
学習者の満足度はどうであったか	○	アンケート結果より、概ね高いことがうかがえる
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	講師は普段の学習成果を生かし、受講生に教えることができた。異年代の参加者の交流も図れた
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	◎	ほとんどの講座で定員を上回る申し込みがあった

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価
 ◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 43

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	館内に子ども達の笑い声が響き渡り夏休みになったことを知る夏休み講座。例年、申し込み多数で抽選となる講座が多いが、保護者の雇用形態（勤務時間帯が様々であること）を考慮して、窓口・電話・電子申請を活用する方法を続けて対応していく。	
改善点	受講生の集中力は、長く見積もっても2時間程度のため、説明が長くなり過ぎない講座編成を心掛ける。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	当地区では夏休みは図書室利用を含め、公民館へ通うことが小中学生に定着しており、継続開催を希望する保護者が多いため、内容を若干入れ替えて準備して、同規模の開催を維持したい。	

その他の留意事項	運営補助ボランティアとして、中高生の協力（参加数17人、延べ30人）。 「3」心の教室は、小学生の保護者の受講あり（親子や祖母と孫で受講：2組）
----------	---

	
海洋プラスチックごみについて学ぶ様子	野菜を千切りにする様子

【事業一覧】

No	6	東公民館	事業名	青少年体験・チャレンジ活動		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	少年教室	講義・実習	7月29日(火) 8月 5日(火)	こども将棋教室	実10544851 報10589492	
2	少年教室	講義・実習	7月31日(木)	楽しいリサイクル工作(※) 『びっくり箱をつくろう』	実10544851 報10589492	
3	少年教室	実習	8月 7日(木)	絵画教室	実10544851 報10589492	
4	少年教室	講義	7月26日(土)	素数のメロディとピタゴラスの調べ ～整数の世界への入門～	実10530364 報10577124	
5	育成・イン リーダー研修	講義・実習	4月19日(土)	育成指導者講習会(育成会役員向け)	実10451977 報10492001	
6	育成・イン リーダー研修	講義・実習	7月12日(土)	インリーダー講習会『避難所(ひなんじょ) について学びましょう』	実10516346 報10579916	

【事業の概要】

No	6	東公民館			経費	¥6,000		
事業名	青少年体験・チャレンジ活動				講座区分	少年教室		
講座名	楽しいリサイクル工作『びっくり箱を作ろう』							
ねらい	① 子どもたちが学ぶ機会を設け、地域の子ども達が自ら学ぶ姿勢を身につけること。 ② 体験学習を通じて、子どもの主体性やコミュニケーション力の向上を図る。 ③ 家にある身近なものを使い、楽しめるものを作成し、ものづくりの大切さ、物を大切にする姿勢を学ぶ。							
対象	☐ 乳幼児	☒ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☐ HP	☐ チラシ	☒ その他（すぐーる）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	7月31日(木)		楽しいリサイクル工作『びっくり箱をつくろう』 牛乳パックを3本使って、びっくり箱とぶんぶんゴマを作成した。			6,000円	—	
	10:00	12:00				南橋リサイクルの会 佐藤さん、元木さん 生方さん、目黒さん		
	20	17						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	身近な物で楽しいものを作る素晴らしさ
地域のニーズにこたえているか	◎	好評な講座で参加者数も多いため
企画・事前準備は十分であったか	◎	講師と話し合い、工夫しながら当日を迎えた
学習者の満足度はどうであったか	◎	難しい面もあったが、楽しい時間を過ごせた
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	同じ意志を持つ人を増やしていきたい
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	◎	定員の2倍以上の応募があった

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 48

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	南橘リサイクの会の皆さんは、30年以上SDGSの取り組みを続けている。こどもたちに工作をする前に資源の大切さを伝えていた。今回は底の部分以外を全部使い切り、びっくり箱を作成した。形は同じだが、マジックで絵を描いたり、自分の好きなシールで飾り付けしながら、個性ある様々な作品が完成した。最後に牛乳パックの底の部分を使い「ぶんぶんゴマ」を作った。最初はうまく回せなくても、最後は全員回せるようになった。びっくり箱も、何度も開いて驚かせあいしながら、笑いあっていた。家に帰って作品で家族を笑顔にすることを期待した。	
改善点	定員以上の応募があり今後のキャンセルを見越して、25名受講通知を送ったが、当日の出席は17名だった。講師が70代、80代ということもあり体力面など心配したが、とても忍耐強くこどもたちの相手をしてくれた。低学年だとはさみの使い方がまだ難しいようだったが、高学年の子が面倒を見てくれてとてもありがたかった。公民館の講座だと、小学1年生から6年生まで参加するので、なかなか作業の進み具合が難しいが、定員の人数や時間を短くして2回実施するなど、少し考えてみたいと思った。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	材料費がかからず、自宅にあるもので作成できる素晴らしさ、知恵など、ものづくりの楽しさを学べる機会なので、今後も続けていきたい。また、保護者からゲームやパソコンから離れる事ができて良かったと感想があった。	

その他の留意事項	講師が70代、80代なので今後も引き受けてくれるか心配だが、来年度も声をかけていきたい。また、自分も作り方の練習をしたので、自分が主となり協力者がいれば実施してみたい。
----------	--

	
牛乳パックを3等分しています	なぜか集まってコマを回しています

様式 1

【事業一覧】

No	7	元総社公民館	事業名	青少年体験・チャレンジ活動		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	少年教室	講義・実習	6月28日(土)	第1回 プレイルーム元総社『スポーツチャンバラ教室』	実10518413 報10552268	
2	少年教室	講義・実習	7月26日(土)	第2回 プレイルーム元総社『こども電気教室～レモン電池～』	実10518413 報10578138	
3	少年教室	講義・実習	8月 2日(土)	おやこの食育教室	実10541448 報10598280	
4	少年教室	実習	8月 5日(火)	夏のしゅくだいお手伝い教室(※) ～書道～	実10541448 報10598280	
5	少年教室	講義・実習	8月23日(土)	フクロウとみちかな生き物を探求しよう	実10541448 報10598280	
6	少年教室	講義・実習	11月29日(土)	第3回 プレイルーム元総社『親子のタオル犬づくり教室』	実10518413 報10684026	
7	少年教室	講義・実習	12月25日(木)	第4回 プレイルーム元総社『けん玉教室』	実10518413 報10707630	
8	少年教室	実習	12月25日(木) 12月26日(金)	受験生応援！元総社学習室	実10673308 報10707538	
9	少年教室	講義・実習	2月28日(土)	第5回 プレイルーム元総社『南京玉すだれ・バルーンアート体験教室』	実10518413 報10758864	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	7	元総社公民館			経費	1,800円		
事業名	青少年体験・チャレンジ活動				講座区分	少年教室		
講座名	夏のしゅくだいお手伝い教室～書道～							
ねらい	① 夏休み期間中の学びや体験活動を通じて、学ぶことの意欲やこどもたちの自由な発想を引き出し、自らの考えを表現する力を育む ② 学年や学校を越えた交流を通じて、コミュニケーション能力を向上させる							
対象	☐ 乳幼児	☒ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☒ HP	☒ チラシ	☒ その他（すぐーる）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	8月5日(火)		1 字の大きさや筆の運び方の習得 2 学年別の課題を繰り返し練習し清書する			1,800円	—	
	14:00	15:30				書道 あをみ会 会長 奥野 美代子		
	20	20						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	△	社会的課題の把握が不十分なため
地域のニーズにこたえているか	◎	夏休みの課題のため希望者が多数である
企画・事前準備は十分であったか	◎	指導者と複数回打合せし実施している
学習者の満足度はどうであったか	◎	アンケートの高評価が9割以上である
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	講師依頼団体の活動意欲の向上になる
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	◎	複数の方法で周知し定員に達している

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 45

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	講座の性質から社会課題等の評価や学習グループ化等の判断は困難であるが、参加者は書道に熱心に取り組み、団体の講師の方々も参加者の状況に応じて、丁寧に指導している。	
改善点	学年ごとに決められた課題を講師が指導し実施しているが、児童自身が課題を決めて自由に実施することでも必要と考える。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	児童等の実施の希望は多く、実施の方法は講師の意向を考慮し対応する必要がある。	

その他の留意事項	公民館利用団体による講師であるが、児童を指導する方は7名ほどであり、謝礼が少額である。
----------	---

	
学年ごとの課題を練習	複数講師の丁寧な指導

【事業一覧】

No	8	総社公民館	事業名	青少年体験・チャレンジ活動		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	少年教室	講義・実習	7月29日(火) ～ 8月19日(火)	総社公民館サマーチャレンジ2025 全7回(※)	実10487282 報10569295	
2	少年教室	講義・実習	12月25日(木) 12月26日(金)	総社公民館ウィンターチャレンジ2025 書き初め教室①②	実10654468 報10698671	
3	少年教室	講義・実習	1月24日(土) 2月24日(火)	総社公民館ウィンターチャレンジ2026 太々神楽を体験しよう!①②	実10654468 報10754712	
4	育成・インリー ダー研修	講義	2月12日(木) ～ 3月1日(日)	初級指導者講習会 動画配信 「子ども会とは育成会とは」	実10726639 報10771382	
5	育成・インリー ダー研修	実習	2月12日(木)	初級指導者講習会 「KYT、レクリエーション」	実10726639 報10771382	
6	育成・インリー ダー研修	講義・実習	3月1日(日)	インリーダー講習会 「カレー作り」	実10726639 報10771382	

【事業の概要】

No	8	総社公民館	経費	¥19,000					
事業名	青少年体験・チャレンジ活動		講座区分	少年教室					
講座名	総社公民館サマーチャレンジ2025								
ねらい	① 年齢や学校を超えた仲間づくりを進めるとともに、コミュニケーション力の向上を図る ② 学校とは異なる集団学習において、自己の考え方や工夫する力を育む ③ 様々な体験を通して、興味や関心の幅を広げる								
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者		
周知	☐ 館報	☐ HP	☐ チラシ	☐ その他 ()					
回	月日		学習主題・内容	講師謝礼金額		実費負担金額			
	開始	終了		講師名					
	定員	参加者							
1	7月29日(火)		こども料理教室 対象：総社地区の5～6年生 ピザ、野菜スープ、オレンジゼリーの調理	6,000円		500円			
	10:00	12:45		総社地区 食生活改善推進委員会					
	9	8							
6	8月2日(土)		寺小屋スロー数学 素数のメロディーとピタゴラスの調べ 対象：市内小中学生と保護者	—		—			
	10:00	11:30		群馬高専名誉教授 斎藤 斉					
	40	14							
2	8月3日(日)		おやこ料理教室 対象：総社地区の小中学生とその保護者 ごちそうミートローフ、かぶのカレースープ、あずきミルクゼリーの調理	5,000円		500円			
	10:00	12:40		総社地区 食生活改善推進委員会					
	12	11							
3	8月3日(水)		絵画に色をぬろう① 夏休みの宿題の絵画に色を塗る 対象：総社地区の小学1～3年生 ※3人欠席	8,000円		—			
	10:00	12:00		総社パレットクラブ 講師 落合 三津子 会員2名					
	20	9							
4	8月6日(木)		絵画に色をぬろう② 夏休みの宿題の絵画に色を塗る 対象：総社地区の小学4～6年生 ※9人欠席またはキャンセル	—		—			
	10:00	12:00		ボランティア： 共愛学園前橋国際大学生 第六中学校美術部					
	20	4							
5	8月7日(金)		読書感想文を書こう オリジナル下書きシートを使って読書感想文を書く 対象：総社地区の小中学生	—		—			
	10:00	12:00		ボランティア： 共愛学園前橋国際大学生 群馬医療福祉大学生					
	12	14							
7	8月19日(火)		こわいおはなし会 怖い内容の絵本をスクリーン投影し朗読 対象：市内小学生とその家族	8,000円		—			
	10:00	11:00		総社読み聞かせの会					
	50	60							

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	土日に保護者と参加する講座も開催した
地域のニーズにこたえているか	○	昨年度、開催を望む声が多かった講座を行った中学生のボランティア体験の場となった
企画・事前準備は十分であったか	○	講師の選定やボランティアの依頼を早めに行った
学習者の満足度はどうであったか	◎	友人ができた、楽しかったなどの感想と次回の開催を望む声が多かった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	◎	自主学習グループに講師を依頼し、日頃の学習成果を活かすことができた
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	館報、HPのほか、すぐるによる周知活動を行った

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

43

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	体験した小学生の反応も良好で、次回を望む声が聞けた。 中学生ボランティアを初めてお願いし、小学生の絵画をみてもらったが、双方ともに好評だった。一方、定員を満たない講座が多かった。	
改善点	総社歴史資料館の講座と日が重なってしまったことが応募者数に影響した。 絵画の人気の下がってきた感があるので、来年度は体験系の講座を取り入れたい。	

次年度の事業継続の評価	見直し改善	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	次回を望む声が多く上がっているが、応募が少ない講座については、講座内容を変更し実施したいと考える。また、学校連携を図り、中学生ボランティアと小学生の交流の場としたい。	

留意事項等	
-------	--

	
子ども料理教室	こわいおはなし会

【事業一覧】

No	9	南橘公民館	事業名	青少年体験・チャレンジ活動		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	少年教室	講義・実習	7月24日(木)	竹の弓矢を作って遊ぶ	実10517356 報10598290	
2	少年教室	実習	7月28日(月)	南京玉すだれ体験 紙芝居体験 ビュンビュンゴマ (それいけ！まえばし出前講座)	実10517356 報10598290	
3	少年教室	講義・実習	8月 3日(日)	エコ・クッキングを体験してみよう！ (共愛学園前橋国際大学短期大学部・出張講座)	実10517356 報10598290	
4	少年教室	講義・実習	8月 5日(火)	アプリ開発の作業を体験してみよう (共愛学園前橋国際大学・出張講座)	実10517356 報10598290	
6	少年教室	講義・実習	12月13日(土)	どんぐり教室 ・どんぐりのお話(どんぐりから苗木育て) ・どんぐりクラフト ・どんぐり遊び	実10676777 報10695734	
7	少年教室	講義・実習	12月13日(土)	宇宙のおはなし&星空天体観望(※)	実10676777 報10695734	
8	少年教室	実習	12月25日(木)	トーンチャイムを演奏しよう (クリスマスソングなど)	実10676777 報10704409	
9	少年教室	講義・実習	12月25日(木)	電気をつくろう ・いろいろな発電方法の学習・体験	実10676777 報10704409	

【事業の概要】

No	9	南橘公民館			経費	—		
事業名	青少年体験・チャレンジ活動				講座区分	少年教室		
講座名	宇宙のおはなし&星空天体観望							
ねらい	① 国立天文台の宇宙についての観測データを専用のソフトウェアで視覚的に体験してもらい、屋外でも天体望遠鏡で惑星等を観望してもらい、宇宙についての好奇心を向上させる ② 保護者と星空を観望する体験を通して、家族で宇宙について楽しく語り合う機会とする							
対象	☐ 乳幼児	☒ 小学生	☒ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☐ 館報	☒ HP	☐ チラシ	☒ その他（すぐる）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	12月13日(土)		宇宙のおはなし&星空天体観望 ・国立天文台制作のソフト“MITAKA”を利用して、宇宙の階層構造を視覚的に体感。 ・当日観測可能な天体（土星や流星）に関する解説講義。 ・屋外で天体望遠鏡を用いて惑星等の観望会を実施。			9,000円	—	
	19:00	20:30				高崎市少年科学館職員 岸 篤宏 アマチュア天文家 横尾 淳一		
	19組	17組31名						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	宇宙時代に向けた思考を涵養する内容であるとともに、星空を眺めることで心身のリラックス効果が得られる
地域のニーズにこたえているか	◎	科学への興味・関心の育成、精神的な安らぎや豊かな感性の涵養、生涯学習の機会提供など、多様なニーズにこたえている
企画・事前準備は十分であったか	◎	講師との事前打ち合わせやメールでのやり取りを重ねて、資料等を準備した
学習者の満足度はどうであったか	◎	参加者から屋外での天体観測を楽しむ声が多数聞かれた。また、講師の講義もわかりやすく工夫され、参加者の知的好奇心を満たす水準にあった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	学習体験を通して参加者の科学への興味・関心を向上させ、科学の発展に寄与する人材育成につながる可能性がある
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	募集用の案内チラシを作成し、ホームページへの掲載や“すぐる”アプリによる市内中学生の保護者への周知を行った

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価 ◎＝50点、○＝40点、△＝30点、■＝20点で計算し平均点を求める	平均点	47
---	-----	----

事業の総合評価	B	※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	本教室では、講師が国立天文台のフリーソフト「MITAKA」を操作し、太陽系の身近な天体から約470億光年先の宇宙の果てまでを、映像を使って視覚的に説明した。屋外の観望会では、講師の天体望遠鏡を使い、参加者に惑星等を観望してもらった。これらの体験を通して、参加者が、夜何気なく見上げている星空の先に広がる宇宙を想像し、自分たちが宇宙の中の地球という星で暮らしていることも感じてもらえたのではないかなと思う。	
改善点	講師が作成した紙の資料には、小学生にはやや難しい内容も含まれていた。事前の打ち合わせなどを通じて、わかりやすい例えを入れたり、クイズ形式を取り入れたりするなど、子どもにも理解しやすい資料づくりの工夫ができると良い。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	本事業は、国立天文台のソフトウェア「MITAKA」や天体望遠鏡を用いた観察を通じて、参加者の科学への興味・関心を高める効果が確認できた。講師の説明もわかりやすく、屋外での天体観望では楽しむ声が多く聞かれ、参加者の満足度は概ね高かったといえる。また、宇宙への理解を深める内容は、現代の科学教育ニーズにも合致しており、継続して実施する意義があると判断したため。	

留意事項等	
-------	--

	
ソフトウェア「MITAKA」による土星の画像	講師による冬の星図の解説講義

【事業一覧】

No	10	清里公民館	事業名	青少年体験・チャレンジ活動		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	少年教室	実習	7月22日(火) 7月23日(水)	宿題の絵を公民館で仕上げよう！	実10529570 報10581419	
2	少年教室	実習	7月24日(木)	宿題の書道を公民館で仕上げよう！	実10529570 報10581419	
3	少年教室	実習	7月25日(金)	コピー用紙で封筒づくりとボールペンの組み立て(※)	実10529570 報10588110	
4	少年教室	実習	7月25日(金)	木工キーホルダーづくり	実10529570 報10588110	
5	少年教室	実習	7月29日(火) 8月 5日(火)	プログラミング体験 ゲームをつくって楽しもう！	実10529570 報10589488	
6	少年教室	実習	8月 7日(木)	花クリップとミニハーバリウムをつくってみよう！	実10529570 報10593772	
7	少年教室	実習	8月17日(日)	親子で楽しいクッキング！	実10529570 報10593730	
8	少年教室	講義	8月19日(火)	レッツ・ウィンズ！	実10529570 報10603354	
9	少年教室	講義・実習	3月 1日(日)	さくらもち作り教室	実10717714 報10760861	

【事業の概要】

No	10	清里公民館		経費	—		
事業名	青少年体験・チャレンジ活動			講座区分	少年教室		
講座名	コピー用紙で封筒づくりとボールペンの組み立て						
ねらい	① 体験活動を通じて、参加者の興味や関心の幅を広げ、学習内容に応じた様々なスキルアップを図る ② 学びの提供側に青少年を活用し、自己有用感を高める機会を提供する						
対象	☐ 乳幼児	☒ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者
周知	☐ 館報	☐ H P	☒ チラシ	☐ その他（ ）			
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金	実費負担金額
	開始	終了				講師名	
	定員	参加者					
1	7月25日(金)		・コピー用紙の包装紙を型に合わせて切り、それを張り合わせた後、シール等でオリジナルの封筒を作成する。 ・支援学校の生徒が授業等で実際に行っているボールペンの組み立て作業を体験。組み立てたものは、製品として店頭に並ぶため、傷をつけないように注意しながら作業を実施。			—	—
	9:30	12:00				前橋高等特別支援学校 生徒	
	8	4					

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	異年齢交流の場。支援学校の生徒が学校で受講している内容を地域の子どもたちに体験してもらええる場となった
地域のニーズにこたえているか	○	夏休みの宿題のサポートと共に児童の居場所作りにもつなげた
企画・事前準備は十分であったか	○	支援学校の先生等と事前打ち合わせを行い、作業分担や情報共有を行った
学習者の満足度はどうであったか	◎	参加して良かったと答えた児童がほとんどであった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	支援学校の生徒が人に教える立場となって、小学生の前で作業説明や指導をしたことで、生徒の自信につながった
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	◎	小学校区が1校で、館報への掲載や学校で全児童へチラシを配布し、十分な周知を行った

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

43

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	本講座は、前橋高等特別支援学校と協働で開催した。支援学校の先生方も協力的であり、講座は支援学校の実習室等をお借りして開催した。参加した児童たちは、教えてもらったことに真剣に取り組んでいた。時間を図ってゲーム感覚で作業をするという講座の組み立ては、参加者が楽しめるものになっていたと感じた。	
改善点	同日の同時刻に2講座を開催したため、講座のすべてを記録することが難しかった。1日1講座または、時間をずらす等の調整をしたほうが良いと感じました。また、内容については、世代間の交流等を含め、小学生が楽しく学べる講座を引き続き検討していく。	

次年度の事業継続の評価	見直し改善	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	高校生が普段、製品（商品）として扱っているものをゲーム形式で作業をするような講座内容は、高校生と小学生で意識の差が生まれ、あまり好ましくなかったように感じた。	
そ留意項等 の意 他事	講座の会場が公民館ではなかったため会場案内及び講座終了後の児童の帰宅手段について確認が必要。	



コピー用紙の包装紙に型をあわせて、切り出しを行っている様子

ボールペンの部品を組み立てている様子

【事業一覧】

No	11	永明公民館	事業名	青少年体験・チャレンジ活動		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	少年教室	講義・実習	7月30日(水) 7月31日(木) 8月 2日(土)	お料理教室①② お料理教室③<共催> (主催:食生活改善推進員会)	実10542713 報10614379	
2	少年教室	実習	8月 6日(水) 8月 7日(木)	夏休み水彩画教室 ～色ぬりをしよう～	実10542713 報10614379	
3	少年教室	講義・実習	8月22日(金)	プログラミングでチャレンジ (※) ～ドローンを操縦してみよう～	実10542713 報10614379	
4	少年教室	講義	8月25日(月)	真夏の夜のこわ～いお話会	実10542713 報10614379	
5	少年教室	講義・実習	1月25日(日)	和だこを作って大空へあげよう	実10669499 報10729619	

【事業の概要】

No	11	永明公民館			経費	¥24,000		
事業名	青少年体験・チャレンジ活動				講座区分	少年教室		
講座名	プログラミングでチャレンジ ～ドローンを操縦してみよう～							
ねらい	① 夏休み期間に地域の中で学べる機会を設け、地域のこども達が自ら学ぶ姿勢を身につける心を養う ② 様々な体験学習を通じて、こどもの主体性やコミュニケーション力の向上を図る。また、プログラミング体験をとおり、学びを振り返りながら論理的思考・考察力等の研鑽を図る ③ 公民館利用団体や地域の団体が講師となり、学びの活動を支援する							
対象	☐ 乳幼児	☒ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☒ HP	☒ チラシ	☒ その他（「すぐーる」配信）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	8月22日(金)		プログラミングの手順(アルゴリズム)を設計し、ドローンを操縦する。			24,000円	300円	
	13:30	15:30				NPO法人 教育支援協会北関東		
	20	18						
						—	—	
						中学生ボランティア 3名 (木瀬中学校)		

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	ICTを活用した学びとして、プログラミング学習の推進を提供した
地域のニーズにこたえているか	○	公民館へ行けば、こんな体験ができる。公民館の魅力や地域の関心が向けられる学びを発信
企画・事前準備は十分であったか	○	講師との事前調整を細やかに行えた
学習者の満足度はどうであったか	◎	試行錯誤を繰り返し、成功させたい意欲が伝わった。アンケート意見でも満足度が高い
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	◎	個のICT学習への興味を深めた。中学生ボランティアは、教える・学ぶの体験学習を得た
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	すぐる配信やチラシ配布、来館者へ直接声がけなど、学びの魅力を伝えながら周知できた

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

43

事業の総合評価		※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	B	・プログラミング講座は小学生の関心度も高く、夏休み講座として継続開催している。今回の学習目的は、目的達成（ドローン、操縦）のために、理論的・考察力を巡らせ改善を重ねてプログラム設計する過程が重点となる内容だった。学習が進むにつれて、参加者の表情に真剣さが満ちてきたのがわかった。 ・ドローン機材等の教材は、市教育委員会から借用した。教材等の支援は、講座内容の充実につながるのととてもありがたい。
改善点		・中学生ボランティアの募集は、夏休みが始まる前に調整を進め取りまとめること。生徒は部活動や大会等の予定があるので、休み前に調整しないとボランティア協力は難しい。学校側の協力を得ながらすすめたい。

次年度の事業継続の評価		※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	維持	・前橋市教育委員会が推進計画に掲げているICT活用の学びを、地域から支援する。

その留意点等	
--------	--



紙面でフローチャートを組んでいる様子



タブレットから指示を出し、飛ばしている様子

様式 1

【事業一覧】

No	12	城南公民館	事業名	青少年体験・チャレンジ活動		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	少年教室	実習	7月30日(水)	夏の和菓子を作ろう！ ～練り切りづくりと茶道体験～	実10523512 報10581427	
2	少年教室	講義・実習	8月 2日(土)	夏休み少年教室 安全教室 ～浮いて待て！水難事故から身を守ろう～	実10526256 報10585329	
3	少年教室	実習	8月 5日(火)	夏休み少年教室 図工教室 ～ポスターを仕上げよう～	実10526256 報10591128	
4	少年教室	実習	8月24日(日)	夏休み少年教室 料理教室 (※) ～ピザやアイスを作ろう～	実10526256 報10598934	
5	少年教室	実習	夏休み期間中の火木金 (一部除く)	中学生・高校生のための自習室	実10554402 報10609958	
6	少年教室	実習	12月 6日(土)	冬の少年教室 バルーンアート教室 ～クリスマスツリーを作ってみよう～	実10633120 報10685805	
7	少年教室	実習	12月20日(土)	冬の少年教室 書初め教室 ～きれいな字を目指そう～	実10633120 報10689784	
8	少年教室	実習	2月28日(土)	和菓子をつくろう！ ～カラフルあんこ&みたらしのお団子～	実10712858 報10767130	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	12	城南公民館			経費	19,000円		
事業名	青少年体験・チャレンジ活動				講座区分	少年教室		
講座名	夏休み少年教室 料理教室～ピザやアイスを作ろう～							
ねらい	① 夏休みを利用して、学校以外の環境で子どもたちが集まり、学校・学年を越えて交流を図る ② 体験や学習を通して、子どもたちの考える力・自主性を養う							
対象	☐ 乳幼児	☒ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☒ HP	☒ チラシ	☒ その他（すぐる）				
回	月 日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	8月24日（日）		料理教室～ピザやアイスを作ろう～ ・子どもを対象とした食育についての講義 ・保護者と一緒にピザ、ビシソワーズ、フルーツアイスの調理実習。実食。			19,000円	500円	
	9:00	13:00				城南地区 食生活改善推進委員会		
	12組	11組						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	夏休み中に楽しく学べる機会、親子で交流する機会を提供できた
地域のニーズにこたえているか	◎	キャンセル待ちも出たことから、料理教室は親子に人気のテーマで、地域のニーズにこたえられた
企画・事前準備は十分であったか	◎	食生活改善推進員が何度も試作を重ね、親子で楽しめる内容となった
学習者の満足度はどうであったか	◎	アンケート結果から満足の声が多かった。また料理教室やお菓子作りの教室を希望する声が多かった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	自宅でも作りたいとの声があがっており、学びの還元ができています。多くの食生活改善推進員に協力していただいた
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	◎	すぐる配信後すぐに定員となりキャンセル待ちも出たことから、十分に周知はできていた

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 48

事業の総合評価		※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	B	食生活改善推進員が何度も試作を重ねたり、教職経験のある委員が食育についての講義を準備したりなど、講師には非常に熱意を持って取り組んでいただけた。かわいらしい星型のピザやタオルを振り回して固めるフルーツアイスなど、子どもが飽きずに楽しめる内容になっており、参加者からは楽しく取り組めたとの好意的な感想の声をたくさんいただいた。
改善点		夏休みの少年教室で3つの教室を企画したが、料理教室はすぐる配信後10分で定員となり、キャンセル待ちの電話も多かった。料理教室は人気のテーマのため、今後開催する際は先着ではなく抽選を検討したい。また調理時間が押してしまい終了予定時刻を大幅に過ぎたため、参加者には余裕を持たせた終了時間を伝えるようにしたい。

次年度の事業継続の評価		※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	維持	すぐる配信後すぐに定員に達しキャンセル待ちも多く申し込まれるなど、料理教室は非常に人気のテーマであることから、来年度以降も食生活改善推進員等の講師の協力が得られれば、ぜひ連携して企画していきたい。

留意事項等	
-------	--

	
ピザ生地を整えます	星型のピザが焼けました

様式 1

【事業一覧】

No	13	大胡公民館	事業名	青少年体験・チャレンジ活動		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	少年教室	実習	6月22日(日)	赤城山ろく里山学校(※) 「親子じゃがいも掘り体験」	実10485230 報10547355	
2	少年教室	実習	8月 1日(金)	夏休みチャレンジ教室 「ディンプルアート体験教室」	実10534992 報10583734	
3	少年教室	実習	8月 8日(金)	夏休みチャレンジ教室 「木工教室(宝箱を作ろう!)」	実10534992 報10590676	
4	少年教室	実習	8月11日(月)	夏休みチャレンジ教室 「木工チャレンジ(ペンケース)」	実10534992 報10590676	
5	少年教室	実習	8月21日(木)	夏休みチャレンジ教室 「おやこの食育教室」	実10534992 報10597957	
6	少年教室	実習	8月26日(火)	レッツチャレンジアイシングクッキー	実10511022 報10601143	
7	少年教室	実習	1月28日(水)	赤城山ろく里山学校 「季節の星空観察」	実10682048 報10732259	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	13	大胡公民館		経費	—		
事業名	青少年体験・チャレンジ活動			講座区分	少年教室		
講座名	赤城山ろく里山学校「親子じゃがいも掘り体験」						
ねらい	① 赤城山ろくでの収穫体験を通して、自然に親しみ、地域の方との交流の中でふるさとへの誇りと愛着の心を育む ① 自然体験活動を異年齢の子どもや地域団体が共同で行うことで、世代・地域間交流の推進を図る ③ 収穫体験を通して野菜や食材の成り方を学び、実際に家庭で料理して食べることで、食への興味・関心を高める						
対象	☐ 乳幼児	☒ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者
周知	☒ 館報	☒ HP	☒ チラシ	☒ その他（すぐる配信）			
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了				講師名	
	定員	参加者					
1	6月22日(日)		親子じゃがいも掘り体験 ・親子でじゃがいもの収穫を体験し、収穫したじゃがいもは家庭に持ち帰り食べることができる。			—	100円
	9:00	10:15				大胡地区 地域づくり推進委員会	
	15組	12組					

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	異年齢との交流、地域への興味・関心を高めるための体験機会の提供
地域のニーズにこたえているか	○	地域交流の場の提供、体験型・親子参加型の講座実施
企画・事前準備は十分であったか	○	講座内容や事前準備も講師と相談・調整のうえ実施
学習者の満足度はどうであったか	○	アンケート結果から判断
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	地域団体との共催事業、地域団体を講師に活用
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	すぐる配信のほか、公民館報やHPへの掲載

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

40

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	昨年度同様多数の参加があり、じゃがいももたくさん採れ参加者は収穫を楽しむことができた。収穫に至るまで管理いただいた地域づくりの役員さんには本当に感謝したい。本事業では子どもたちが自分の目で見て土や虫に触れることによって、自然を感じ、じゃがいもの色や形、匂いなどを知る機会を提供することができた。また、自分で掘ったじゃがいもを家庭で食べることで、食への興味・関心を高めるきっかけづくりとなった。	
改善点	共催である地域づくり推進委員会と以下の2点について協議を行う。 ・熱中症の心配もあるため、開始時間を午前9時から午前8時に早める。 ・アンケート結果から「中学生でもやりたい」という意見があったことや「中学生・多様な学びの日」に関連して、中学生も参加対象に加える。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	収穫したじゃがいもをいただいたり、地域の方との交流を通して、子どもたちの感謝の気持ちや地元への愛着の心を育むため。また、自然体験活動を通して、子どもたちの主体性を高め生きる力を育むため。	

留意事項等	
-------	--

	
親子じゃがいも掘り体験の様子	親子じゃがいも掘り体験の様子

【事業一覧】

No	14	宮城公民館	事業名	青少年体験・チャレンジ活動		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	少年教室	講義・実習	7月22日(火) 7月27日(日) 8月 5日(火) 8月12日(火)	夏休みチャレンジ教室 (※)	実10510427 実10523458 報10592205	
2	少年教室 (家庭教育学級)	実習	12月25日(木)	親子で楽しむ大根掘り&ドライフラワーアレンジ	実10668613 報10704592	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	14	宮城公民館			経費	¥22,500		
事業名	青少年体験・チャレンジ活動				講座区分	少年教室		
講座名	夏休みチャレンジ教室							
ねらい	① 体験学習を通して、子どもたちの創意工夫する力を養う ② 異学年交流をし、社会性を身につける ③ 人権意識の向上や郷土愛を育む ④ 地域活動支援センターと共催連携することで、地域施設の活動を知り多様性を尊重する意識を育む							
対象	☐ 乳幼児	☒ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☒ HP	☒ チラシ	☒ その他（子ども会経由の周知）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	7月22日(火)		日本画体験教室「貝合わせ作りにチャレンジ」 ・貝合わせ作りを通じて日本画の技法や材料の特徴を学ぶ。			12,000円	—	
	14:00	16:00				地元出身日本画家 須藤 和之		
	15	15						
2	7月27日(日)		ふるさとのお話会「ふるさとの神話・民話～紙芝居と語り～」 ・重要文化財阿久沢家住宅で、地元の神話や民話を紙芝居と語りで伝える。			4,500円	—	
	10:00	11:30				野間清治顕彰会理事 羽田野 孝栄		
	50	17						
3	8月5日(火)		むかしあそび教室「わくわく忍者道場！ひみつの忍術を学ぼう」 ・忍者の覆面を被り、ひもを使った忍術の体験や厚紙で手裏剣を作る。			6,000円	—	
	14:00	16:00				地元講師 三橋 明彦		
	15	9						
4	8月12日(火)		人権ミニ教室「こころの教室」 ・心の健康について、小学生が理解しやすいようにクイズを取り入れながら学ぶ。			—	—	
	9:30	10:00				前橋市保健予防課 こころの健康係職員		
	親子10組	19						
5	8月12日(火)		野菜収穫体験「おいしい野菜発見！みんなで収穫しよう」 ・地域活動支援センターの通所者とともに野菜を収穫する。			—	—	
	10:00	11:30				前橋市社会福祉協議会 地域活動支援センター みやぎ職員		
	親子10組	19						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	体験活動を通じて異学年や地域住民との交流促進が図れた
地域のニーズにこたえているか	○	夏休み期間を利用したチャレンジ教室は地域に定着しリピーターも多い
企画・事前準備は十分であったか	○	講師との事前打合せ、各会場との調整を十分に行った
学習者の満足度はどうであったか	◎	アンケート結果や講座中の意欲的な態度、活発な意見等からも満足度の高さがうかがえる
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	地域資源の活用（人材、文化財、施設、畑）を多く取り入れた
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	館報、タブレット配信に加え、子ども会も周知、参加者の取りまとめに協力していただいた

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 42

事業の総合評価		※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	公民館が耐震補強工事により使用できない状況であったため、地域の施設を借用し臨機応変に5コマの講座企画をすることができた。また、自主学習グループや地域活動支援センターと共催することで、それぞれの特性を活かしながら住民同士のつながりや郷土愛を深める学習内容となった。	
改善点	・参加しやすい日程の設定 ・子ども達が成長する過程で必要な様々な学習分野を取り入れる。 ・学習成果を家庭や地域に還元・波及させる工夫をする。	

次年度の事業継続の評価		※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	夏休み期間を利用して開催するチャレンジ教室は、公民館の講座として定着しており毎年参加する子どもも一定数いる。地元講師陣も前向きに協力してくださり専門分野を活かした学びをご指導いただいている。	

留意事項等	
-------	--

	
阿久沢家住宅にてふるさとのお話会	あいにくの雨のでしたが沢山収穫できました

様式 1

【事業一覧】

No	15	粕川公民館	事業名	青少年体験・チャレンジ活動		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	少年教室	実習	中止	調味料で電池	実10554438 報10589862	
2	少年教室	実習	12月 6日(土)	草木染めをしてみよう (※)	実10662617 報10689522	
3	少年教室	実習	1月 6日(火)	書き初め教室	実10664275 報10711547	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	15	粕川公民館			経費	—		
事業名	青少年体験・チャレンジ活動				講座区分	少年教室		
講座名	草木染めをしてみよう							
ねらい	① 自然界の草花や樹木の葉、土など身近な素材を用いて自然の色を感じる ② 染色体験をきっかけに、自然の素晴らしさや大切さを考える ③ グループ学習を通して仲間作りを図る							
対象	☐ 乳幼児	☒ 小学生	☒ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☐ 館報	☐ HP	☒ チラシ	☒ その他（すぐーる）				
回	月 日		学習主題・内容			講師謝礼金	実費負担金	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	12月6日(土)		草木染め体験 ・自然の染料を使ってシルクハンカチを好みの色や模様で染める ・粕川地区子育て連との共催講座			—	200円	
	10:00	12:00				粕川公民館職員		
	12	12						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	自然素材を利用した染色体験を通じ身の回りの環境に関心を持つことができた
地域のニーズにこたえているか	○	工作体験を内容とした講座を希望していた
企画・事前準備は十分であったか	◎	講座進行について子育て連と事前に打ち合わせを実施し、材料の手配は子育て連が担い準備はスムーズだった
学習者の満足度はどうであったか	○	絞り作成、煮染の過程、媒染を経て自分だけの作品に仕上がったことに満足感が笑顔にあらわれていた
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	子育て連との共催講座として開催できた
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	△	公民館報への掲載が間に合わなかった
※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価 ◎＝50点、○＝40点、△＝30点、■＝20点で計算し平均点を求める		平均点 40

事業の総合評価	B	※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	シルクのハンカチに絞りを作ったり、寸胴鍋で煮染をしたり、こどもたちにとって新鮮な体験だったと思う。草木染めは成功、失敗の分けはなく仕上がった作品が唯一無二の自分だけの作品であることから、こどもたちは皆笑顔で楽しんでいた。今後も達成感を味わえる内容の講座運営に注力していきたい。	
改善点	2時間の中では染料の煮出し作業など作業工程の一部を事前に準備し、参加者に体験してもらうことができなかった。また、今回は公民館職員が講師として比較的簡単な染料を使用して実施したが、こども達のアンケート結果には「今度は違う色で染めてみたい」という声もあり次回開催する場合は、より専門的な知識を有している講師に依頼することも検討する。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	2時間という限られた時間の中で普段できない体験が可能であること、また、こどもたちそれぞれが自由な発想で作品制作に取り組む事ができ達成感が味わえるため。	

留意事項等	草木染めに限らず達成感が味わえる講座内容にすること。
-------	----------------------------

	
染色液で煮染の様子	完成品を手に記念撮影の様子

【事業一覧】

No	16	富士見公民館	事業名	青少年体験・チャレンジ活動		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	少年教室	講義・実習	7月24日(木)	親子で工場見学バスツアー	実10491785 報10578145	
2	少年教室	講義・実習	7月26日(土)	親子でナイトハイク&星空観察	実10491785 報10578145	
3	少年教室	講義・実習	8月 5日(火)	わくわくサイエンス教室	実10491785 報10578145	
4	少年教室	講義・実習	8月 6日(水)	ドローン&プログラミング教室(※)	実10491785 報10578145	
5	少年教室	講義・実習	8月 8日(金)	プログラミング教室	実10491785 報10578145	
6	少年教室	講義・実習	8月21日(木)	料理教室	実10491785 報10578145	
7	少年教室	講義・実習	11月15日(土)	親子座禅体験教室	実10523383 報10672313	
8	少年教室	講義・実習	11月28日(金)	親子星空観察教室	実10523503 報10680834	
9	少年教室	講義・実習	12月26日(金)	親子お菓子づくり教室	実10523503 報10680834	

【事業の概要】

No	16	富士見公民館			経費	12,000円		
事業名	青少年体験・チャレンジ活動				講座区分	少年教室		
講座名	夏休みこどもチャレンジ教室							
ねらい	① 学校や学年が異なる集団の中で相互の交流を図る ② 夏季休業中にこども達が学ぶ場を設け、地域のこども達が自ら学ぶ姿勢を身に付ける機会づくりとする ③ 体験学習を通じて、こどもの主体性やコミュニケーション力の向上を図る ④ 赤城山の豊かな自然を体験し、地域資源の活用を図る ⑤ 地域の団体を講師にすることで、人材育成及び地域の世代間交流を図る							
対象	☐ 乳幼児	☒ 小学生	☒ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☒ HP	☒ チラシ	☒ その他（すぐえる）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	8月6日(水)		「ドローン＆プログラミング教室」 プログラミングをしドローンを操縦体験してみよう			12,000円	一人600円	
	9:30	11:30				NPO法人教育支援協会北関東		
	20	32						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	NPOや学校と連携協力し教室の運営を行った
地域のニーズにこたえているか	○	アンケート結果からもニーズの高い内容であったため
企画・事前準備は十分であったか	○	講師や学校と事前に打ち合わせを行うことで、問題なく実施することができた
学習者の満足度はどうであったか	○	アンケート結果の満足度の割合が高いため
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	中学生ボランティアに教室運営の補助を依頼 ボランティア活動証明書を後日発行
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	すぐるだけでは定員に達しないため、各学校にチラシを配布するなどの工夫を行った

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 40

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、 30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	昨年に引き続き、今年も中学生にボランティアを依頼し、教室の運営補助を行っていただいた。講師の「どうしたら上手くいくか自分たちで考えながら作業をして」という指示のもと、各々考え工夫しながら参加者の地元小学生の面倒を見ている姿が印象的であった。	
改善点	当初講師側でドローンを用意するという話であったが、混線してしまうことが判明したということで、急遽、市で所有するドローンを借用することになった。当日に混線が生じていたら教室の運営にも支障が出ていたと思われるため、余裕を持った事前の試験運転の必要性を感じた。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、 「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	夏季休業中の教室は人気のため、今後も参加者のニーズを把握しながら企画していく必要あり。	

留意事項等	事業の概要の3. 4. 5に記載の教室については、教室運営補助として地元中学生にボランティアを依頼。教室終了後には中学校をとおり全員にボランティア活動証明書を発行。
-------	--

	
プログラミング設定中	設定したプログラムで実際に輪をくぐるか体験中